

旧広島陸軍被服支廠に係る懇談会等の開催について

1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の活用について、令和4年度末までに、実現可能性のあるアイデアを「活用の方向性」として、複数案取りまとめるため、「第2回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会」（以下「第2回懇談会」という。）及び「第1回旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ」（以下「第1回ワークショップ」という。）を開催する。

併せて、実施設計に着手する安全対策工事と建築物の価値調査について、意見を聴取するため、「第1回旧広島陸軍被服支廠 安全対策・価値調査等検討会議」（以下「第1回検討会議」という。）を開催する。

2 現状・背景

建物の安全対策を早急に進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現するパターンを基に、建物3棟の安全対策の実実施設計業務に着手した。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査に着手した。

また、重要文化財の指定を見据え、指定後に必要となる建物の管理・活用の方向性等を定める保存活用計画の検討を進めるため、有識者等で構成する懇談会を設置・開催し、活用の方向性の取りまとめに着手した。

3 概要

(1) 活用の方向性の取りまとめについて

ア 第2回懇談会の開催について（WEB開催）

(ア) 実施主体

県

(イ) 日時

令和4年1月26日（水）10時00分～

(ロ) 場所

自治総合研修センター第1研修室（広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル7階）

(ハ) 実施内容

- ・議題1：被服支廠に関する情報の共有

内 容	所属・氏名
(1)地域の歴史と被服支廠について	広島市郷土資料館 主任学芸員 前野 やよい
(2)被服支廠の価値について	アーキワーク広島代表 高田 真
(3)巨大建造物の活かし方について	近畿大学 社会環境工学科 教授 岡田 昌彰

- ・議題2：意見交換

イ 第1回ワークショップの開催について（WEB開催）

(7) 実施主体

県

(4) 日時

令和4年1月30日（日）13時00分～

(5) 場所

広島県庁本館3階経営企画チーム執務室

(8) 実施内容

被服支廠の歴史などについての情報共有 など

(9) 参加者

50名（内訳：委員推薦18名，公募抽選32名）

(2) 安全対策に係る実施設計及び文化財指定に向けた価値調査について

ア 第1回検討会議の開催について（WEB開催）

(7) 実施主体

県

(4) 日時

令和4年2月7日（月）10時00分～

(5) 場所

広島市まちづくり市民交流プラザ研修室C（広島市中区袋町6-36）

(8) 実施内容

- ・ 検討会議会長の選任
- ・ 安全対策工事に伴う実施設計について，取組状況を報告し，実施設計の一環として行う調査の内容・工法について，了解を得る。
- ・ 文化財指定に向けた価値調査について，取組状況を報告する。

イ 第1回検討会議への報告

(7) 安全対策に係る実施設計について

a 報告内容

実施設計の一環として行う，屋根等の劣化程度を把握する調査などのほか，全体スケジュールおよび作業方針について，整理を行った内容について説明する。

b 実施設計の一環として行う調査の主な内容

- ・ 屋根の劣化度調査
 - 1～3号棟の屋根瓦を一部撤去し，瓦・スラブ表面等の劣化状況を調査する。
- ・ 鉄骨ブレース設置予定箇所の調査
 - 1号棟1階において，鉄骨ブレース設置予定箇所の配筋状況等を調査する。

c 今後のスケジュール

令和4年1月～3月	補足調査の実施
1月～5月	詳細調査の検討
6月～10月	実施設計
10月～令和5年3月	積算・とりまとめ

(イ) 建築物の価値調査について

a 報告内容

旧広島陸軍被服支廠の沿革や建設後の改変、活用履歴等を明らかにするため、歴史的調査に着手し、広島市公文書館、広島県立文書館、広島大学公文書館、国立公文書館等において資料の探索を行った。

併せて、建設の経緯等、旧日本陸軍に係る資料について行った防衛省防衛研究所戦史研究センターにおける調査や、県民に対して行った被服支廠に関わる資料の提供の呼びかけなどの状況について報告する。

(現時点で判明したこと)

- ・ 旧陸軍省と広島に置かれていた第五師団との間で交わされていた、建設に係る往復文書等の存在
- ・ 戦後、教育機関の教室や学生寮等として使用されていた際の部屋の状況など

b 今後のスケジュール

今後は、引き続き歴史的調査を進めるとともに、旧広島陸軍被服支廠の構造、意匠、材料、仕様、被爆による影響等を対象とした建造物調査を行い、これらの結果を踏まえ、文化財的価値の把握及び整理を行う。

令和4年1月～8月	歴史的調査・建造物調査
7月～12月	文化財的価値の把握及び整理
令和5年1月～3月	調査報告書とりまとめ

4 その他

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、これら懇談会等の実施内容について、変更することがある。